

本日の情報集會報告
プログラム 「ロータリーデーに参加して」

2月 平和と紛争予防/
紛争解決月間

前回例会出席率
58.82%

会長の時間

池島 泰光

鹿児島ロータリークラブ、鹿児島西ロータリークラブ、鹿児島中央ロータリークラブの3クラブ合同例会開催にあたりまして、私用によって参加が叶わなかった事、心より残念に思います。



代読：坂元 直人

中央ロータリークラブは今期、ロータリーデーのホストクラブとして会員全員が一丸となってロータリーデーの成功に向けて日々精進しているところがございます。

市内10クラブの「会長・幹事会」の中でも申し上げますが、ロータリアンとして2730地区を盛り上げ、今回のロータリーデーを契機として一般市民の方々にロータリークラブをもっと知って頂きたいと思っております。

今回のロータリーデーの開催による地域社会への奉仕活動を通じ、更なる持続可能な公共イメージの強化に努めて行きたいと我がクラブ会員一同、気持ちを新たにしております。

現在、中央ロータリークラブは「ロータリー賞へのチャレンジ」「会員増強の推進」「ロータリーリーダーシップ研究会へのクラブ2名以上の参加」などに積極的に取り組んでいるところでございます。

早春を駆け巡る薩摩路のマラソン「県下一周駅伝」も5日目を過ぎ、いよいよ佳境に入って参りました。同じく私の会長としての務めもラストスパートの段階に入ります。

「プラン・ドゥ・チェック」の最終段階を迎える中で、「終わり良ければ全て良し」の精神で、ロータリーデーの成功と今日の3クラブ合同例会の盛會を心より祈念申し上げます。

国際協議会のご報告

■国際ロータリー第2730地区

ガバナーエレクト 喜島 健一郎

国際協議会は平成31年1月13日から19日まで、米国カリフォルニア州サンディエゴにて開催されました。協議会はガバナーエレクトとその配偶者がロータリーの知識と最新情報を学び、意欲を高めて次年度に向けた準備をするための研修会合です。ロータリーの目的は、1. 職業上高い倫理観を持ちロータリアン各自の職業を高潔なものにする。2. 一人一人が個人として職業や社会生活において奉仕活動をする。3. 知り合いを広めることにより奉仕の機会とする。4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進する。



以上の目的と共にロータリーを拡大しよう、更に力強いロータリーを築こうと述べていた、米国アラバマ州、ジケーター RC弁護士のマーク・ダニエル・マローニー氏が次年度国際ロータリー会長に就任致しました。

その彼が発表した次年度会長テーマは、『ロータリーは世界をつなぐ』でした。彼はその説明の中で、1. ロータリーを成長させる、2. 家族の重要性、3. 組織の改革、4. 国連との連携を述べロータリアン同士が手を取り合うのを促していました。

私はこの事から、わが国際ロータリー第2730地区の2019-2020年度の目標を次の様に決定致しました。

目 標 『クラブの活性化に努めよう』

そのための活動計画

1. 童心と共に原点に帰り原点を大切にしていって変化を受け入れ目標に向かおう
2. 女性会員が10%未満のクラブは、女性会員を10%以上に増強しよう
3. クラブの会員が50名以下のクラブは、10名単位で会員を増強しよう
4. 姉妹クラブがないクラブは、国内か国外に姉妹クラブを作ろう
5. 5年間グローバル補助金を使用していないクラブは、財団のグローバル補助金を使い、国境を越えた恵まれない人々を支援する活動をしよう



次回例会 平成31年3月4日(月)

ロータリーデー報告=社会奉仕委員長 前迫 実君
ゲスト卓話=米山記念奨学生 モス・アミナ・サリナ様
会員卓話=小福田 博君「鹿児島マラソンに参加して」

出席報告	会員数	出席数	出席率
第1927回例会	55名	30名	58.82%
前々回(1月28日)の補正	55名	41名	80.39%